

第11回

Group goût
Gg展

2022. 5.10(火) ~ 5.15(日)

ふくやま美術館 ホール 入場無料

開館時間9:30-17:00/最終日16:30まで

問い合わせ先: グループ・グー 代表 和田道雄 070-3775-3339 sankaku内

主催: グループ・グー (Group goût)

後援: ふくやま美術館 広島テレビ 広島ホームテレビ エフエムふくやま ひろしまインターネット美術館

尾道エフエム放送 ちゅピCOM おのみち 中国新聞備後本社

協賛: ガレリア・レイノ

ロシアのウクライナ侵略は、世界を震撼させた。大義もなく、核をもつ大国が小国に戦争を仕掛けるという時代錯誤のような構図に啞然とした。国際社会は、すぐさま経済制裁や資産凍結などロシア排除へと舵を切った。芸術の分野においても、ミュンヘン・フィルハーモニーがゲルギエフを首席指揮者から解任したり、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場がソプラノ歌手ネトレブコを降板させたりとロシア排除が続いた。

ロシアは芸術の国で、シャガールやカンディンスキーといった巨匠たちを生んだ国である。エルミタージュ美術館など貴重な美術コレクションを擁する国でもある。この事態がロシア出身の芸術家たちの歴史的な評価にも影響を及ぼしかねない、と私は少し心配している。作品を政治的バイアスや地域性だけで見てしまうと、間違ったメッセージを読み取ってしまう。

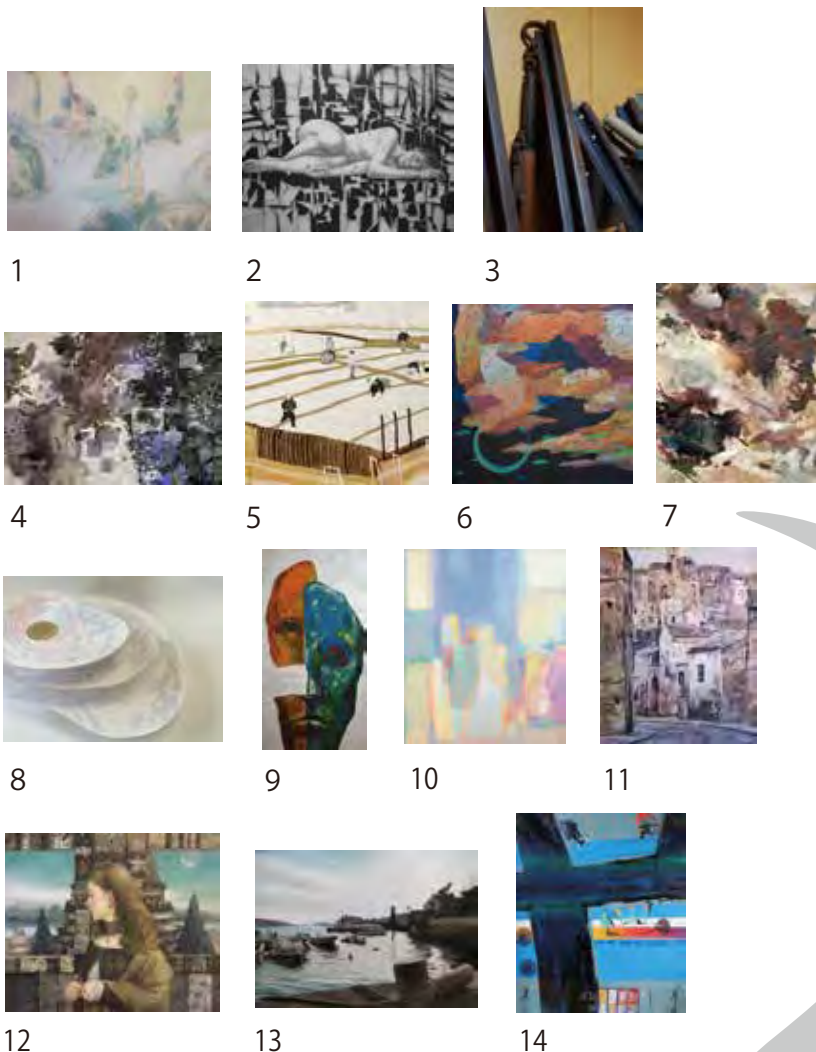
広島のアーティストたちも、海外など他所に出ると「ヒロシマ」問題との関わりを問われることがある。それをテーマにするアーティストも少なくないのだが、政治的なテーマの作品では、その解釈が安直になってしまい、ポリティカル・コレクトネスで判断されてしまいがちになる。アートは、もっと幅のあるものであり、多様な解釈が可能なものではないと思う。

こじつけのようだが、Gg展に集うアーティストたちは、多様で幅の広い表現の作品をつくる。本年は、第2クールの初回、11回目の展覧会であり、それぞれが何かしらの新しい試みを加えてくるだろう。コロナ禍やロシアのウクライナ侵略などが勃発する不穏な2020年代だからこそ、不要不急ではない芸術表現を見てもらいたいのである。

谷藤史彦（一般財団法人下瀬美術館 副館長）

*Gg展は、2012年に高地・渋谷・長谷川・和田の4人によって結成され、仲間を増やしつつ活動を続けるグループ・グー（Group goût）の展覧会である。

- 1 足立 陽子
〈sein0〉
- 2 板倉 文香
〈追憶〉
- 3 岡 孝博
〈RAIL WORK XI
APORIA〉
- 4 高地 秀明
〈風の記憶〉
- 5 酒井 一樹
〈巨大な動物シリーズ
「シロナガスクジラ」〉
- 6 渋谷 清
〈夜凧〉
- 7 菅原 瑤子
〈集〉
- 8 瀬尾 佳枝
〈水玉〉
- 9 田窪 薫
〈対話〉
- 10 橋野 仁史
〈Schliere〉
- 11 長谷川 雅敏
〈崖の街〉
- 12 花岡 寿一
〈ヨフケ〉
- 13 牧原 竜浩
〈鞆の浦の午後（2022）〉
- 14 和田 道雄
〈Fujin×Raijin21-04〉



【出品作家によるギャラリートーク】

- 日時 / 5月14日(土) 14:00~15:00
- 場所 / ホール内



- 第11回Gg展 <入場無料>
- 会期 / 2022年5月10日(火)~5月15日(日)
- 開館時間 / 9:30~17:00 [最終日は16:30まで]
- 会場 / ふくやま美術館 ホール
〒720-0067 広島県福山市西町2丁目4-3
- 問い合わせ先 / グループ・グー 代表
和田道雄 070-3775-3339 sankaku内

【缶バッジを作ろう！】

- 日時 / 5月14日(土)・5月15日(日)
13:00~14:00
- 場所 / ホール内
- 申し込み不要。
材料がなくなり次第終了。

【出品作家の情報、展示案内などはこちら】

- 展示やイベント等の変更はこちらから確認できます。



※感染対策を行いながら実施いたします。
新型コロナウイルスの感染状況により
変更する可能性があります。

